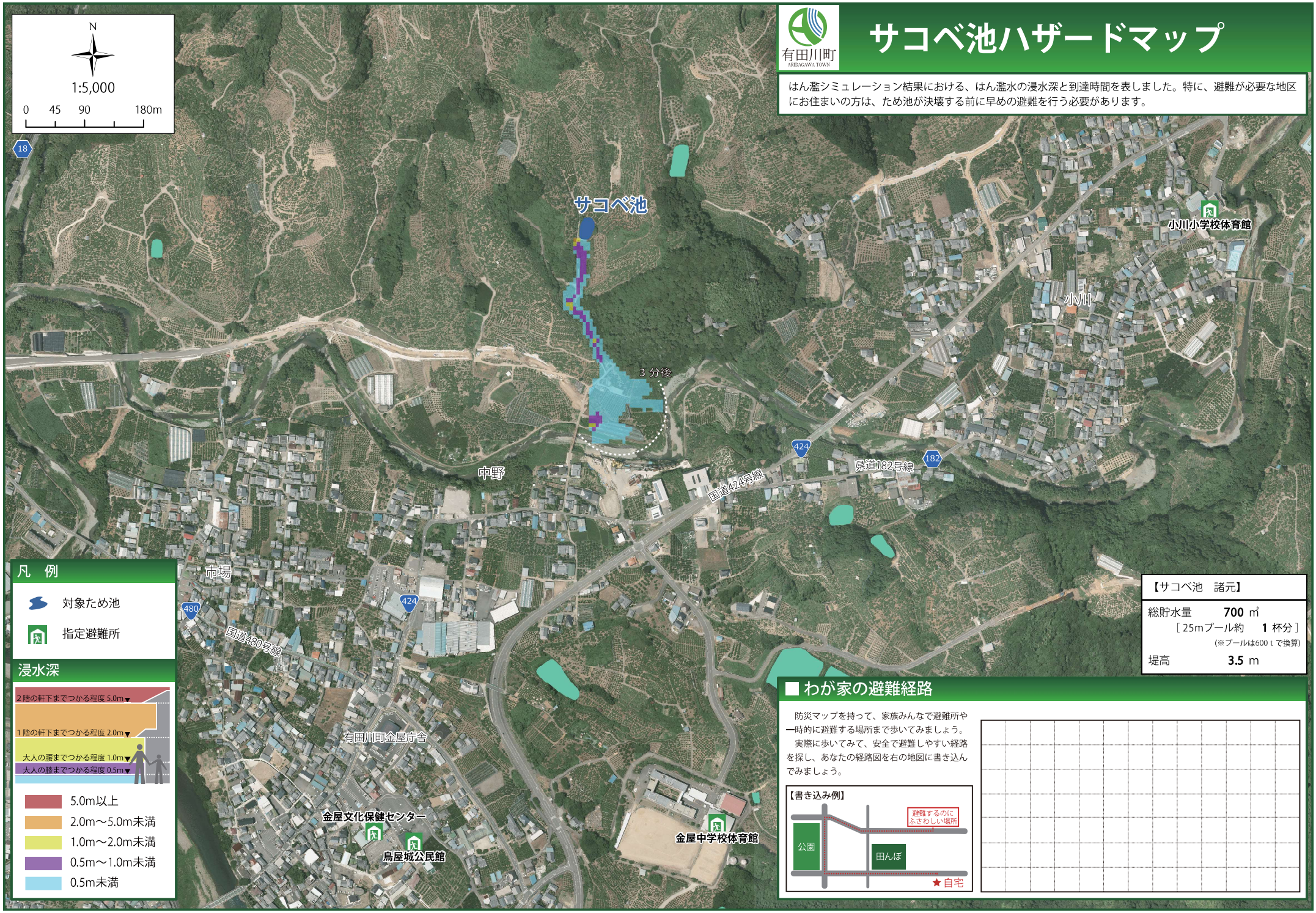
サコベ池ハザードマップ

有田川町
ARIDAGAWA TOWN

はん濫シミュレーション結果における、はん濫水の浸水深と到達時間を表しました。特に、避難が必要な地区にお住まいの方は、ため池が決壊する前に早めの避難を行う必要があります。



凡　例

- 対象ため池
- 指定避難所

浸水深

- 2階の軒下までつかる程度 5.0m
- 1階の軒下までつかる程度 2.0m
- 大人の腰までつかる程度 1.0m
- 大人の膝までつかる程度 0.5m

- 5.0m以上
- 2.0m～5.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m未満

【サコベ池　諸元】

総貯水量	700 ㎥
	［25mプール約　1 杯分］
	（※プールは600ｔで換算）
堤高	3.5 m

■ わが家の避難経路

防災マップを持って、家族みんなで避難所や一時的に避難する場所まで歩いてみましょう。

実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。

【書き込み例】

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平27情使、第1072号）」

■ 大雨・洪水に関する情報

●気象警報について

分類	用語	説明	基準（有田川町域）
大雨 洪水	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは 数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
	警報	大雨による重大な災害が発生すると予想された場合 大雨などにより河川の増水やはん濫などによる重大な災害が予想された場合	3時間雨量 170mm
	注意報	大雨による災害が発生すると予想された場合 大雨などにより河川の増水やはん濫などによる災害が予想された場合	3時間雨量 60mm

●一時間の総雨量と雨の強さ（一般的な１時間雨量での目安）

ザーザーと降る。地面一面に水たまりができる。長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。	バケツをひっくりかえしたように降る。道路が川のようになる。	滝のように降る。水しぶきであたり一面が白くなり、視界が悪くなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる。

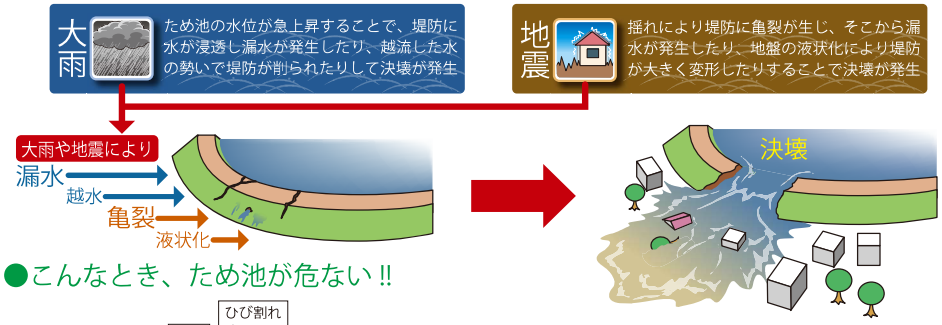
■ もしも、ため池の堤防が壊れたら

●はん濫シミュレーションについて

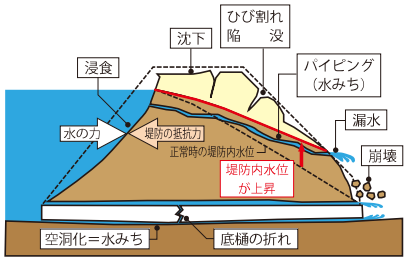
本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。

台風等に伴う大雨（緊急事態）の際には、ため池の水位を事前に低下させるなど、決壊を未然に防ぐための処置を行いますが、このような処置を講じたにもかかわず、想像を超える被害が発生することは考えられます。しかし、その様な想定を超える状況を定量的に評価する解析手法は現時点では確立しておりませんので、総貯水量（＝常時満水位）が流出することを前提とした解析によって浸水範囲を想定しています。このため、災害の状況によっては、現在表示されていない範囲で浸水被害が発生する可能性も考えられます。

●ため池決壊の原因と起こり方



●こんなとき、ため池が危ない !!



大雨時

- ●急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- ●漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- ●堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時（震度４以上）

- ●堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

有田川町
ARIDAGAWA TOWN

サコベ池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

■ 緊急時の連絡先

行政機関	有田川町消防本部	0737−52−5950
	有田川町消防本部清水消防署	0737−25−1243
	湯浅警察署	0737−64−0110
救急告示医療機関	有田南病院	0737−52−3730
	西岡病院	0737−52−6188

ライフライン	有田川町役場 / 水道課	0737−52−5356
	関西電力（株）和歌山営業所	0800−777−8071
	西日本旅客鉄道（株）お客様センター	0570−00−2486
	【電話】会社名：	
	【ガス】会社名：	
その他		

※【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

■ 災害用伝言ダイヤル（171）

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

災害用伝言ダイヤル（171）は、「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

伝言の録音　1 7 1 ＋ 1 ＋ 被災地の人の電話番号（市外局番から） → 録音

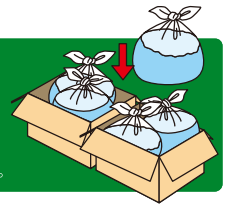
伝言の再生　1 7 1 ＋ 2 ＋ 被災地の人の電話番号（市外局番から） → 再生

自宅に留まることも選択肢の一つ

浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、２階へ避難するということも選択肢の一つです。

家屋の浸水を軽減する方法
『ゴミ袋による簡易水のう』

４０リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



メモ欄　（例えば、各ご家庭にて減災・防災・避難に関する必要なことを書きとめ、ご家族で共有するなど）

【お問い合わせ先】　有田川町役場　TEL:0737-52-2111（代表）